

令和元年度 指定管理業務 実績評価シート

部課名 都市整備部公園緑地課

施設名	弘前市緑地公園						
施設の設置目的	市民のレクリエーション活動や散策等憩いの広場として親しまれるほか、緑豊かな空間として市民の安全確保、健康の保持・増進を図るための施設として設置したもの						
所在地	弘前市大字中野一丁目地内他						
指定管理者名	弘前市造園組合						
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで						
<p>1 事業計画の実施状況</p> <p>事業計画に則り、管理コストの削減に努めながら適正な施設の管理運営を実施していた。</p>							
<p>2 自主事業の実施状況</p> <p>組合員(造園業)による、庭木の相談会等を実施。(花苗・秋植え球根の無料配布実施)</p> <table border="0"> <tr> <td>4月21日「春の緑地まつり」(花苗無料配布)</td> <td>参加者 約100名</td> </tr> <tr> <td>8月30日「庭木剪定講習会」(職員への剪定講習会)</td> <td>参加者 15名</td> </tr> <tr> <td>10月27日「秋の緑地まつり」(秋植え球根無料配布・ロープ結び方講習会)</td> <td>参加者 23名</td> </tr> </table> <p>講習会については、参加者から雪囲いの方を学びたいとの意見があり、また、このような講習会に再度の参加意向があることから、開催回数及び参加人数を増やし、更なる充実を図っていただきたい。</p>		4月21日「春の緑地まつり」(花苗無料配布)	参加者 約100名	8月30日「庭木剪定講習会」(職員への剪定講習会)	参加者 15名	10月27日「秋の緑地まつり」(秋植え球根無料配布・ロープ結び方講習会)	参加者 23名
4月21日「春の緑地まつり」(花苗無料配布)	参加者 約100名						
8月30日「庭木剪定講習会」(職員への剪定講習会)	参加者 15名						
10月27日「秋の緑地まつり」(秋植え球根無料配布・ロープ結び方講習会)	参加者 23名						
<p>3 市民サービス向上のための取組状況</p> <p>市民が均一のサービスを受けれるように、組合員の技術向上・均一化を図るための剪定講習会を開催していた。また、草刈り作業時の収集方法について、時間を置く乾燥搬出から利用者に弊害とならない即時撤去するように改めていた。市民の緑化意識高揚に係る市民サービスの向上に貢献した。</p>							
<p>4 市民ニーズの把握の実施状況</p> <p>春と秋の緑地まつり開催時に、市民ニーズ把握のためのアンケート調査を実施していた。春は66件、秋は16件の回答があり、年代では50歳以下が23%と若年層が増加傾向にあり、利用者のほとんどは市内在住で、半数以上が初めての利用者であった。施設の使いやすさ・満足度・再度の利用では、81%が使いやすい・77%が満足している・89%がまた利用したいという回答であった。また、その他で意見・要望があった。今後も、より多くの方からのアンケートを聴取し、利用者ニーズを取り込んだ事業を実施していただきたい。</p>							
<p>5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）</p>							
<p>6 指定管理業務の収支状況</p> <p>常にコスト削減を考慮し、適正な運営に努めた。</p>							

7 実地調査の結果

第1回実地調査 …… 令和元年10月15日に実施。内容は、管理運営全般。

第2回実地調査 …… 令和2年3月17日に実施。内容は、管理運営全般。

利用者からの連絡等に対し、速やかな対応による管理運営が行われていた。

8 成果指標の達成度

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	A	地域住民に喜んで頂ける自主事業を企画し、利用者の増員を図る他、安心して利用できる施設としてサービス向上に努めている。	地域住民との連絡を密にし、利用者ニーズの把握・反映に力を入れる。自主事業の周知方法・実施時期の改善。
施設の管理	A	緑地管理を円滑に行えるような人員配置を心がけ、緊急時対応や接遇等の検討と研修を行っている。	パトロール実施時の確認事項の徹底、緊急時対応表等の常時携帯(作業車両への積み込み)の義務付け等。
経理の状況	A	収支計画に基づき適正に運営している。	今後もこの状況を維持する。
団体の財務状況	B	組合員数8名からなる組合で年会費の徴収を行い運営している。借入金等はなく、予定もない。極めて健全な財務状況と言える。	今後もこの状況を維持する。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	A	施設の設置目的達成のため、法令等を遵守し、職員の配置、公平性の確保や自主事業を開催していた。また、利用者ニーズの把握のため、アンケート調査を実施していた。	今後も利用者ニーズを把握し、適正な運営を継続していただく。
施設の管理	A	施設管理を円滑に行っており、個人情報や文章等も適切に管理していた。	今後も利用者目線に立ち、より安全で利用しやすい施設管理を継続していただく。
経理の状況	A	帳簿等の整理・保管、経理の区分、収支状況及び経費の削減に努め、適切な処理がされていた。	今後も適正な経理に努めていただく。
団体の財務状況	B	安定的な施設の管理が可能な経理基盤であった。	今後も安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する